

環境行動宣言

木の家づくりで、地球環境をまもります。

「ツーバイフォー」にできること。「ツーバイフォー」だから、できること。

木の利用で
CO₂を吸収する森の循環を
促します。

世界の木造建築のスタンダードである「ツーバイフォー」建築は伐採適齢期を迎えた森林から木を伐採して利用します。伐採後にはCO₂をたっぷり吸収する若木が成長する活力のある森を再生させます。森林の循環を促し、地球温暖化防止に貢献します。

高い環境性能で
建物の省エネ化を進め
使用エネルギーを小さくします。

「ツーバイフォー」建築は、断熱・気密性能を高めやすく、屋内の暖気・涼気が逃げたり、屋外の冷気・熱気が入り込みにくい工法です。さらに、省エネ性能の高い設備機器を採用することで、使用するエネルギーを少なくし、省エネなどの環境活動を推進します。

長寿命化の技術で
長く使い続け、環境負荷を
低減します。

しっかりつくって長く使い続けることが、廃棄物の削減につながります。「ツーバイフォー」建築は、高い耐久性・耐震性・耐火性を備えており、時代や使い方に柔軟に対応できる技術とデザイン、的確なメンテナンスで、長寿命の建物を提供します。

日本ツーバイフォー建築協会は
開発目標(SDGs)を支援しています。



SDGs (持続可能な開発目標)とは

SDGs (エス・ディー・ジーズ: Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

環境行動指針

1 脱炭素化推進

CO₂を削減

高い環境性能・耐久性能の建物と省エネ機器で使用エネルギーを削減。資材、建設、使用(居住)、解体、再生・処分までのライフサイクルを通してCO₂を削減します。



「木」のCO₂削減効果を活用

森林は大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収し、炭素(C)を木の中に蓄え、酸素(O₂)を放出します。「木」を使うことで温暖化抑制に貢献します。



2 資源の活用

再生可能な循環資源「木」の活用

自然の恵みである「木」、木を育てる「森」、森に住む「生きもの」を大切にする環境に配慮した木材調達や、リサイクル材の活用を積極的に行います。



建設現場での廃棄物を削減

木材をはじめ各種資材は有効に活用し、発生した廃棄物もリサイクルすることで最終処分量を減らし、地球環境への負荷の削減に努めます。



3 環境経営

環境に配慮した経営

環境に配慮した経営方針を取り入れ、環境行動の目標・計画を設定し、その達成に取り組めます。



地域、社会への貢献

住まい手、利用者と連携した環境活動を推進します。地域社会と連携した環境保全活動を推進します。



JAPAN 2×4 HOME BUILDERS ASSOCIATION

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会